



きよみ文といふ集巻
きよみ年法か
とし正所高弟
私漢乃古安わ
よる一花人
事のいお
きよく魏境



Handwritten mark or signature on the right page.

此後法華の如夢の如く
多し一や一なるが書法
能くその果をいふ
の宛
あつた
あつた

法華の如夢

法華の如夢に去來は又此の如く
能く可なり
く未の如く
法に據るの調は
あつた

時雨の魂紙去来も思ふ
好く世に人可すめ侍歌

寛政三年亥仲夏

也是事

山形止自序



去来文

前書畧

右之御白くもの内小切字ある白多く思ふ先切字を
發白くしむる細をねん信を思つて切字なること
もかゝらむとくなくもまゝに人々を
と切字の事かゝりなくふかりし切字の事
しむる事と下島かゝりし切字の事と
も切字の事と
事等乃松き花よりおぬえか

此の切字なる事とて他書の集りに二つあり

昔の古詩古歌とあはれりし一服せあけりし

柴門流水依然存

此句を述りしをたしむ

梅の香やを竹とあはれりし

此句は下りしは尋ねむとてきしあはれりし句は只風景
自然に見えぬれし一節一節の意はあはれりしとて
みよの叶わくは今仰ぐあはれりし依然存とて古
人のやたらを水音ふたしむて見し下りし

陽を中 遠れりし

けと文きたし

昔の古詩をたしむるは昔の古詩とて
ても一服せあけりし一服せあけりし
昔の古詩をたしむるは昔の古詩とて

小をたしむるは昔の古詩とて

是王荆の佳句に一鳥不鳴山更幽なりと

先天下松句

猪れ猪れりし

此句は下りしは尋ねむとてきしあはれりし句は只風景
自然に見えぬれし一節一節の意はあはれりしとて
みよの叶わくは今仰ぐあはれりし依然存とて古
人のやたらを水音ふたしむて見し下りし

あつ

梅、香ばたけを、れ花のちとせ

柳のえいよとせてやんじ

はしつろと

梅おて柳乃枝りまのせし 其角

ささのまのよき

山平の花がーいせよとせし 聖水

はつとせんと増まーとせしと増切のぬらぎのよきと

皆こつとせと古は古歌のよきとせしと用ひやんじと

と詩を教をが白をさしと白せん、併あやう古

詩を新と用ひこり強ちかゝりて中とあつむねもあつ

あつむねとあつむねとあつむねとあつむねとあつむねと

も定家卿の権十文字のあつむねと

時を晴やせ者も十文字

又越人も定家卿の権十文字のあつむねと

あつむねとあつむねとあつむねと

あつむねとあつむねとあつむねとあつむねとあつむねと

あつむねとあつむねとあつむねとあつむねとあつむねと

あつむねとあつむねとあつむねとあつむねとあつむねと

あつむねとあつむねとあつむねとあつむねとあつむねと

小島安き〜城乃〜町
 増ふのち〜と〜
 板屋〜
 舟中を〜料理
 舟中の料理〜
 上州の舟中〜
 湯船〜
 舟月れ〜
 一カ〜
 玉味〜

末、化、末、化、末、
 末、化、末、化、末、

不足を寺を〜
 右れ〜
 真のけ〜
 此名〜
 寺の〜
 平月〜
 舟中〜
 舟中〜
 舟中〜
 舟中〜

末、化、末、化、末、
 末、化、末、化、末、

あつてふか〜つたきふ乃侍宗 此
系と〜つたきふ〜つたき 此
ふ〜つたき〜つたき 此
若〜つたき〜つたき 此
〜つたき〜つたき 此
〜つたき〜つたき 此
〜つたき〜つたき 此
〜つたき〜つたき 此
〜つたき〜つたき 此

越ヶ國小越
俱梨伽羅峠

〜つたき〜つたき 柳
植生八幡

うれ台の光明の寺あり〜つたき
〜つたき〜つたき 寺
有保溪

〜つたき〜つたき 寺
布留の丸山の鐘

〜つたき〜つたき 寺
鳴や〜つたき 寺

赤壁

舟の山嵐の身をあやまらう赤壁の遠

のこれ國小詠

松百の橋

そら 娘の膽乃あこころ種水海

漢村夕思

新造の廻らそゆれ夕日る乳

葉の妻小

こくの毛乃石くそあつれまれば海

名月題姦

燈の花よりさうらうの月

暮ら日や花のさうらのたをくん岸花

あけきき金よふえかたなり

丁うさかえいけや直刀の寸き

語ふそく揚州乃水そまたり

くろんちうおるし

無き扉乃門さうりしあこころふ

つ止て扉うさうりしあこころふ

平足子居門の扉そく握匙のさかり

無き扉乃面白みに思くち

ひのきり止す草花のつらき

おのきりしつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花

右

つらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

つらき草花のつらき草花のつらき

杜麻のりしよめはたしつゝ
まはなほしやもやのりし
飛きこねのれをなほし
のこいしやをいしやを
まよあしやをいしや
ゆいしやをいしや
まよあしやをいしや
而もいしやをいしや
りしあひなほしやをいしや

枝のりしやをいしや
まよあしやをいしや

まよあしやをいしや
りしあひなほしやをいしや

まよあしやをいしや
りしあひなほしやをいしや
まよあしやをいしや
りしあひなほしやをいしや

Handwritten text in cursive script, consisting of approximately 12 lines of text.

Handwritten text in cursive script, consisting of approximately 12 lines of text.

of swiftness, power, &

of safety, and of

the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

of the most perfect

張、
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in approximately 15 horizontal lines across the page. The characters are fluid and interconnected, typical of a cursive hand. The script is written in dark ink on aged, yellowish paper. The lines are roughly parallel, with some variations in spacing and alignment. The overall appearance is that of a personal or working manuscript.

花のうらみ
花のうらみ
花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ

花のうらみ


~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


Handwritten characters at the top of the right page.

Handwritten characters in the upper right section of the right page.

Handwritten characters in the middle right section of the right page.

Handwritten characters in the middle right section of the right page.

Handwritten characters in the middle right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Handwritten characters in the lower right section of the right page.

Small handwritten mark at the bottom of the right page.

昔折毛のやうに

七月中

之程のやうに
地をのりて
おのりて

右左

吉本先生

蹟之類也

多如流年辛酉

七月

在



